

正誤表

(4刷までの誤りです)

- ◆ 2頁、7行目
中華帝国の再興 ↓ 中華帝国を再興
 - ◆ 4頁、後ろから1行目
存在する。それは、やがて ↓ 存在する。やがて
 - ◆ 18頁、3行目
実験の一つとして見なす ↓ 実験の一つと見なす
 - ◆ 同、3〜4行目
この連邦的な統治システムは、市民の ↓ この連邦的な統治システムに求められるのは、市民の
 - ◆ 同、5行目
とすることが望まれる。 ↓ とすることである。
 - ◆ 19頁、1行目
し始め、自分たちは、 ↓ し始めた。自分たちは、
 - ◆ 同、2行目
ないと考えた。自らと ↓ ないと考え、自らと
 - ◆ 20頁、1〜2行目
ギリシア人の哲学者——ソフィスト、次いでストア派。彼らも ↓ ギリシア人の哲学者、すなわちソフィスト、次いでストア派——彼らも
 - ◆ 同、10行目
構築されている。 ↓ 構築されている。
 - ◆ 同、11行目
教会がローマ帝国と ↓ 教会が、ローマ帝国と
 - ◆ 21頁、11行目
教会は、まだ自らの ↓ 教会は、いまだに自らの
 - ◆ 同、後ろから2行目
ヘーゲル——、 ↓ ヘーゲルが——、
 - ◆ 23頁、4行目
新たな世界統治を ↓ 新たな世界秩序を
 - ◆ 同、後ろから3〜2行目
公的なものも民間の ↓ 公的なもの、民間の
 - ◆ 同、後ろから2行目
公式のものも非公式の ↓ 公式のもの、非公式の
 - ◆ 24頁、8行目
貧弱である。どんな課題にせよ、 ↓ 貧弱である。その取り組みは、対象がどんな課題にせよ、
 - ◆ 同、後ろから9行目
への対処という点で取って代わろう ↓ への対処という点でアメリカに取って代わろう
 - ◆ 25頁、1行目
われわれは、自分たちが自然災害が〔……〕影響力を前に、何もなす ↓ われわれは、自然災害が〔……〕影響力を前に、自分たちには何もなす
 - ◆ 26頁、1行目
人類への脅威 ↓ 人類全体への脅威
 - ◆ 27頁、2〜8行目
新たな世界秩序とは、〔……〕喫緊の課題なのである。
-
- ◆ 同、後ろから8〜6行目
世界が持つためには、カタストロフが、金融、〔……〕さまざまな面で勃発し、〔……〕運命が世界の人びととお互いにつながっていることを、思い知らされるのを待たなくては ↓ 世界が持つためには、金融、〔……〕さまざまな面でカタストロフが勃発し、〔……〕運命が世界の人びととつながっていることを、思い知るまで待たなくては
 - ◆ 28頁、後ろから8行目
維持するための仕組み ↓ 維持する仕組み
 - ◆ 29頁、1行目
民主主義な秩序 ↓ 民主主義的な秩序
 - ◆ 55頁、左端に訳注を追加
「終わりなき王国へと」「神の国」第二二巻第一章。『ルカによる福音書』一章三三の「その国は終わることとなるべし」が引用されている。
 - ◆ 157頁、後ろから8行目
なお両国の労働組合活動家はなお、お互いの ↓ なお両国の労働組合活動家は、お互いの
 - ◆ 261頁、後ろから9行目
空母「遼寧」 ↓ 空母「遼寧」
 - ◆ 同、後ろから8行目
海軍実戦部隊編成され、 ↓ 海軍実戦部隊が編成され、
 - ◆ 271頁、6行目
総額六億ドル ↓ 総額六兆ドル
 - ◆ 272頁、後ろから5行目
楽観的主義者 ↓ 楽観主義者
 - ◆ 274頁、後ろから6行目
危機を止めるどころか ↓ 危機を止めるどころか
 - ◆ 283頁、3行目
欧州委員会の指示しなど ↓ 欧州委員会の指示など
 - ◆ 287頁、後ろから2行目、1行目
確立 ↓ 確率
 - ◆ 342頁、2行目
特別補佐官となる ↓ 特別補佐官となる
 - ◆ 同、後ろから1行目
報告書はともに ↓ どちらの報告書も
 - ◆ 345頁、11行目
希望を与えるられた ↓ 希望を与えられた

↓ [段落全体削除]